

キャリア教育

1 学校や子どもの現状を把握と目標と課題を明確にした指導計画の作成・改善

- 各学校や子どもの実態に応じて、キャリア教育における**基礎的・汎用的能力**の具体化、重点化等を行い、自校の目指すべき子どもの姿を明確にする。

＊ キャリア教育における基礎的・汎用的能力

- ・人間関係形成・社会形成能力
- ・自己理解・自己管理能力
- ・課題対応能力
- ・キャリアプランニング能力

- ◎ **特別活動の学級活動をキャリア教育の要**としながら、総合的な学習の時間や学校行事、各教科等における学習など、学校の教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図る。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教育活動をキャリア教育の視点でつなぎ、**キャリア教育全体計画**を作成して教育課程に位置付ける。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、**目標やビジョンを地域住民等と共有し、連携・協力**していく。
- 家庭・保護者の役割やその影響の大きさを考慮し、**家庭・保護者との共通理解**を図りながら望ましい勤労観や職業観を育てる。

2 キャリア教育の推進組織・体制づくりと指導の充実

- 校内におけるキャリア教育担当者の役割を明確にするとともに、校内各委員会（校務分掌）相互の連携を強化し**学校全体で取り組む体制**を整える。
- ◎ 小学校の新学習指導要領の学級活動の内容として新設された「**(3)一人一人のキャリア形成と自己実現**」では、子どもに共通した問題を取り上げ、意図的、計画的に指導し、話し合い等を通して一人一人の考えを深め、実践につなげることを重視する。

学級活動でいずれの学年においても扱うもの	
小学校	中学校
ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	ウ 主体的な進路の選択と将来設計

- キャリア教育の要となる特別活動や各教科の特色に応じ、将来の生活や社会と関連付けながら、見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**を進める。
- **職場見学や職場体験学習、社会人講話などの機会**を確保するとともに、子どもに将来の生活や社会、職業などとの関連や自己の変容を意識できるようにする。

3 学校、家庭、地域社会や関係機関等との連携の強化

- 家庭での会話や家事の手伝いなどを通して、**将来の夢や希望**を育むとともに、**集団生活に参加しようとする意欲・態度**を養う。(小)
- 家庭での会話や役割の理解と遂行、保護者や身近な大人の職業についての理解を通して、**社会の一員としての自覚**を高め、**将来の生き方や進路への希望**を育む。(中)
- 地域の行事への参加や職場見学など学校を中心とする地域との関わりを通して、**自分と地域とのつながり**について理解させる。